

「イボ薬師」

〔印南町〕

その昔、おりょうという美しく器量がよくて立居振舞いや言葉つきも優しい娘がいた。ところが残念なことに、この娘の額に大きなイボがあった。娘とともに「何とか治す方法はないものか」と思い悩んでいた両親。ある夜ふけ、枕元で「わたしは上角の薬師だ。信心するなら娘を治してやる」という声を聞いた。そこで朝夕信心を続けていくと、いつの間にか娘のイボはとれてしまったという。以来、イボ薬師さんとして親しまれている。

参考／和歌山県ふるさとアーカイブ



9

2022 / September

10月	日	月	火	水	木	金	土
2022年							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
28		29		30		31		1	先勝	2	友引	3	先負
4	仏滅	5	大安	6	赤口	7	先勝	8	友引	9	先負	10	仏滅
11	大安	12	赤口	13	先勝	14	友引	15	先負	16	仏滅	17	大安
18	赤口	19	先勝 敬老の日	20	友引	21	先負	22	仏滅	23	大安 秋分の日	24	赤口
25	先勝	26	先負	27	仏滅	28	大安	29	赤口	30	先勝	1	

「うそ淵」

〔九度山町〕

昔、中古沢に大きな淵がありました。ある朝、喜平という鉄砲うちが、数羽の鴨を見つけました。そっと忍びよ一発うつと、3羽の鴨が浮きました。喜んで淵にとびこみ、鴨を拾って岸から上がろうと木の根を掴んだら、それはカワウソの足でした。驚いたカワウソは逃げようと必死に地面をかいたので、山芋を3貫めも掘り出し、さらに、土が落ちて水が濁りエビが3升も！こんな嘘のような話からうそ淵というようになりました。

参考／和歌山県ふるさとアーカイブ



10

2022 / October

11月	日	月	火	水	木	金	土
2022年			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
25		26		27		28		29		30		1	友引
2	先負	3	仏滅	4	大安	5	赤口	6	先勝	7	友引	8	先負
9	仏滅	10	大安 スポーツの日	11	赤口	12	先勝	13	友引	14	先負	15	仏滅
16	大安	17	赤口	18	先勝	19	友引	20	先負	21	仏滅	22	大安
23	赤口	24	先勝	25	仏滅	26	大安	27	赤口	28	先勝	29	友引
30	先負	31	仏滅										